

蟻害・腐朽検査診断報告書

下記の建物に関して、蟻害及び腐朽の検査・診断を行った結果は、この蟻害・腐朽検査診断報告書のとおりです。

記

建物の所在地 _____ (市区町村までを記入のこと)

検査年月日	令和 年 月 日
蟻害・腐朽検査士氏名	
蟻害・腐朽検査士登録番号	() <small>都道 府県</small> () - ()
所属事業所	
所属事業所 住所・連絡先	〒 _____ _____ 電話番号 : _____ F A X : _____ e-mail : _____

提出日 : 令和 年 月 日

報告書の記入にあたっての注意点

報告書は、蟻害・腐朽検査士としての技能を審査するためのものであり、蟻害・腐朽検査制度に則った依頼があった建物である必要はありません。

日常的に行っている業務の中から調査建物を選定し、以下注意点をよく読んだうえで報告書を作成してください。

- ・ **別添の報告書様式以外の様式で作成された報告書は認められません**
- ・ メール等電子媒体での提出は認められません
- ・ テキスト「蟻害及び腐朽の検査・診断方法」および別紙記入例を参照のうえ、記入すること
- ・ 登録更新対象者本人が記入すること
- ・ **シロアリ、腐朽、カビのいずれか又は複数の被害があった物件について報告のこと**
- ・ 写真の添付ができないなど**未記入箇所がある場合には、必ずその理由を当該枠内に記入すること**
- ・ 1つの建物に対して1名の検査士が報告書を作成すること
(複数の検査士が同一建物の報告書を提出することは認められません)
- ・ **一般的な住宅**について調査し、報告書を作成すること
- ・ **間取り図は図面などのコピーではなく、手書きすること**
- ・ **※印の項目は、必ず記入のこと**
- ・ 記入や貼付のないページについても全て提出すること
- ・ 本紙に直接記入し、書き損じや下書き等で複数部必要な場合は、複写もしくは協会ホームページ (<http://www.hakutaikyo.or.jp/>) よりダウンロードのうえ印刷のこと
(お知らせ欄「<蟻害・腐朽検査士向け>登録更新手続きについて」に掲示します)

※ご提出いただきました報告書は、蟻害・腐朽検査士の技能審査以外には使用いたしません。

提出期限 6月最終金曜日(必着)

注意点が守られていない報告書は受付できませんのでご注意ください

建物概要および増改築等の履歴

検査建物の概要

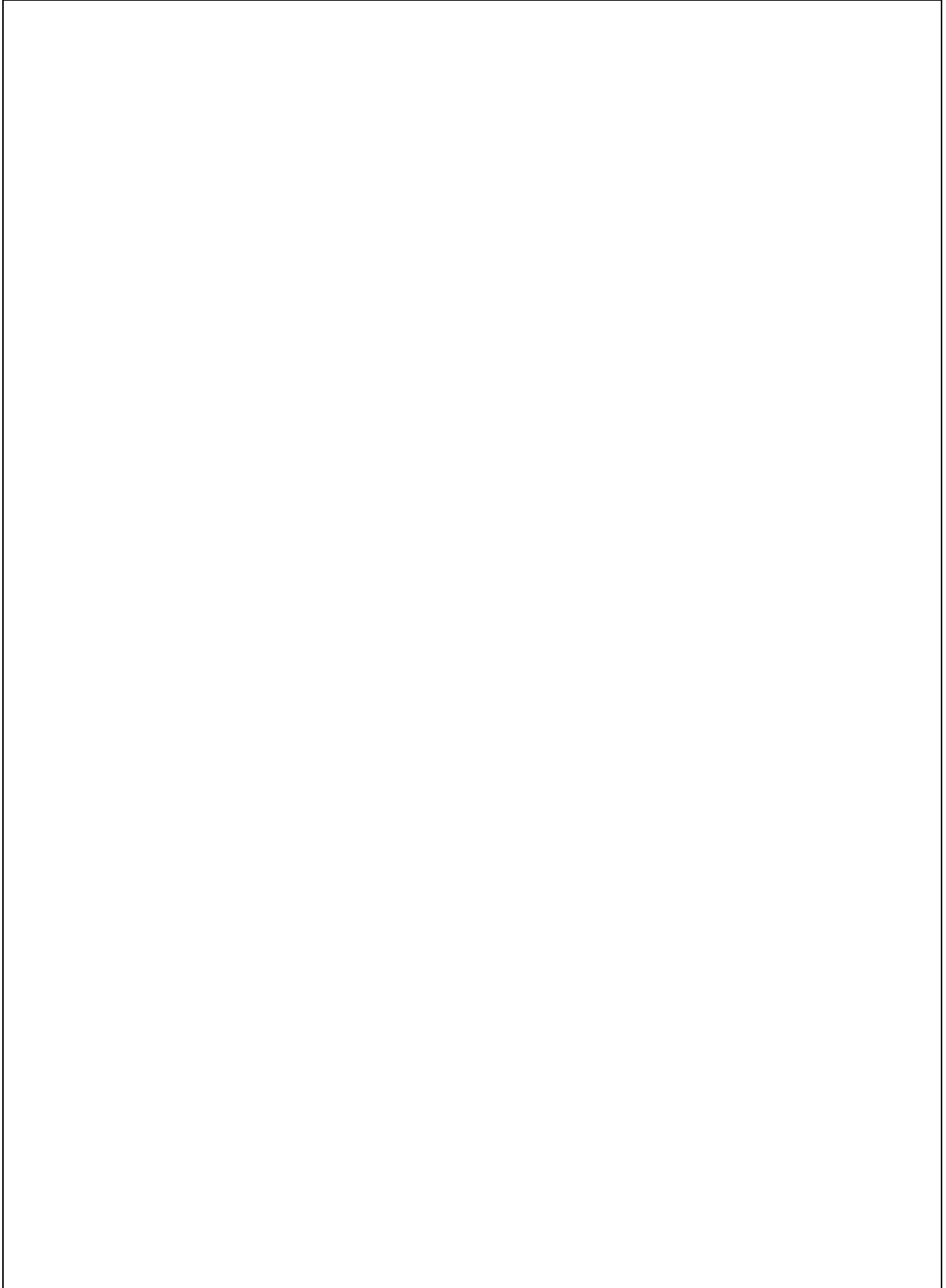
※建物構造	在来軸組構法 枠組壁工法 木質パネル構法 丸太組構法 鉄骨造 RC造 その他 ()
※建物階数	平屋建て 2階建て 3階建て 集合住宅： 階
※建物面積	延べ床面積： m ² 1階床面積： m ² 2階床面積 m ² 3階床面積 m ²
特記事項	

検査建物の履歴

※竣工年月	年 月 (経過年数 年 ヶ月) 不明
※増改築の有無	なし あり 不明
増改築の時期・箇所 (前項「あり」の場合必須)	年 月 (箇所：) 不明
増改築の時期・箇所 (前項「あり」の場合必須)	年 月 (箇所：) 不明
※新築時防蟻・防蟻 処理	なし あり 不明 該当箇所なし
新築後防蟻・防蟻処 理履歴	年 月 内容：
新築後防蟻・防蟻処 理履歴	年 月 内容：
新築後防蟻・防蟻処 理履歴	年 月 内容：
特記事項	_____ _____ _____ _____ _____ _____

※建物概要写真

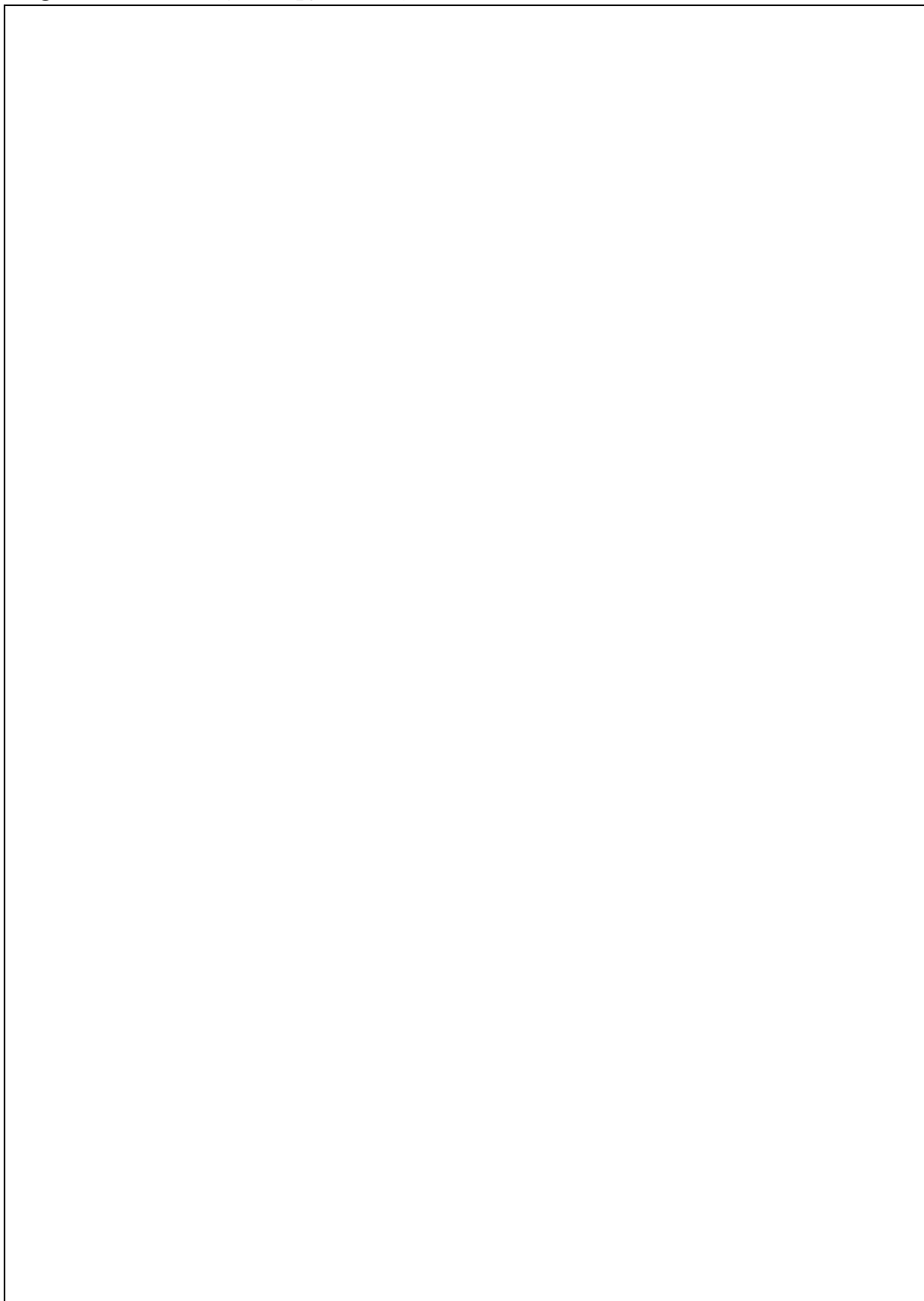
- ㊦写真にはNo.を付け、最後の頁の間取図に撮影方向を明記すること。写真は2～4枚程度の建物外観とする
- ㊦貼付できないときはその理由を枠内に記述すること



※建物概要写真

㊦写真にはNo.を付け、最後の頁の間取図に撮影方向を明記すること。写真は2～4枚程度の建物外観とする

㊧貼付できないときはその理由を枠内に記述すること



※シロアリの食害および腐朽・カビの状況検査結果

㊦シロアリ、腐朽、カビいずれかの被害がある物件であること

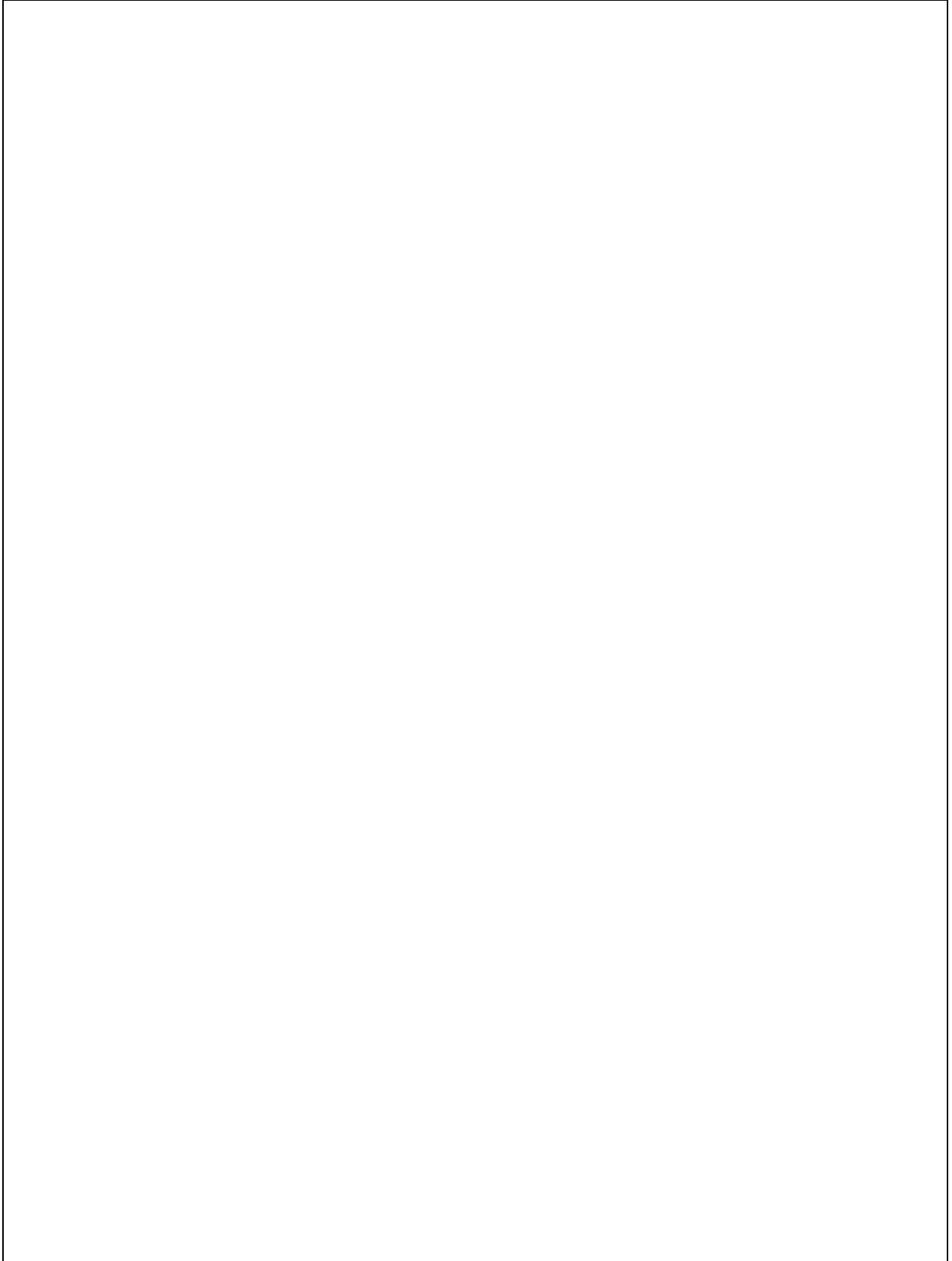
シロアリの種類	被害なし ヤマトシロアリ イエシロアリ 乾材シロアリ ()		
	シロアリの食害状況		腐朽・カビの状況
建物外周囲 (庭木・木柵)	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () ()	
建物の外壁等	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () ()	
[室内]壁・床・建具・家具	食害なし 食害あり 不明 部屋名 () 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 部屋名 () 被害のあった部材 () () ()	
[小屋組・天井] (梁・桁・母屋・垂木)	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () ()	
[床下]床下木部等	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () () () ()	

※全体所見

※シロアリの食害および腐朽・カビの状況現況写真

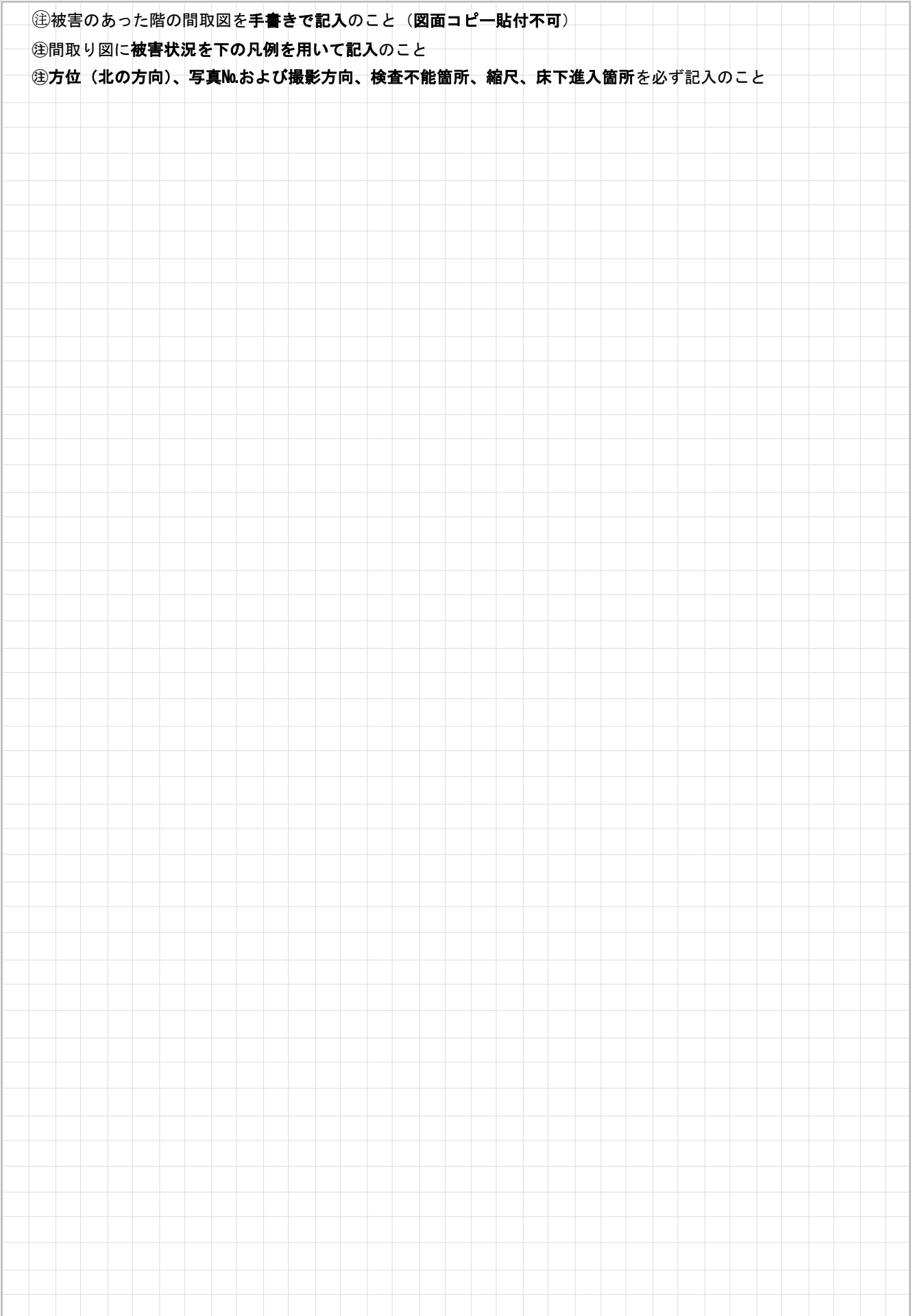
㊦各写真にはNo.を付け、被害部材および状況を記入すること。また間取図に撮影方向を明記すること

㊦写真を貼付できないときはその理由を枠内に記述すること



※被害状況を記入した間取図

- ④被害のあった階の間取図を手書きで記入のこと（図面コピー貼付不可）
- ⑤間取図に被害状況を下の凡例を用いて記入のこと
- ⑥方位（北の方向）、写真No.および撮影方向、検査不能箇所、縮尺、床下進入箇所を必ず記入のこと



凡例：蟻害 × 蟻道・蟻土 △ 腐朽 ⊗ 菌糸 ⊕ 子実体 ⊙ 進入口 ⊠